



少年少女発明クラブで 受け継がれていくもの

テルモ株式会社 心臓血管カンパニー

ニューロバスキュラー事業マーケティング本部 課長代理 塩野 裕志さん

さいたま市少年少女発明クラブ OB

在籍期間：1987年(小5)～1988年(小6)

指導員補佐、指導員(2017年～)

■発明と私

私が「発明」に初めて触れたのは、父が連れて行ってくれたドイツの物産展がきっかけでした。晴海(東京)の広い会場に様々なアイデア製品が並んでいたのを感じています。

小学校の教室で画びょうを踏んだことはありませんか？ 落ちた時にかならず針が下を向くように工夫した画びょうが私は一番印象に残りました。白一色で丸いシンプルな型だったと記憶しています。それをもとにして私は「3色のカラフルなスポンジで、大小様々な多角形の頭を付けた」画びょうを、夏休みの工作の宿題として提出しました。どうやらその作品が発明創意くふう展に出品されたいと聞いていたある日、突然学校にテレビ局から電話がかかってきたというのです、『あれは盗作ではないか』と。その結果、私の作品は出展取りやめになったようでした。色も形も「くふう」したつもりだったのですが、どうやら世の中、これではダメなようです。どうしたら工夫と言えるのか？ 改良や発明とは何か？ 小学校3年生ごろ、私は大きな疑問を抱えることとなりました。

そして5年生になり家庭科の先生が私を呼び出しました。『今度、発明クラブというのができるから、きっとあなたに向いているから行ってみたら？』と新設クラブの募集チラシをくださいました。学校の先生というのは、本当に子どもたちのことをよく見ているものです。こうして私は大宮市(当時)の少年少女発明クラブに一期生として参加することになりました。

■発明クラブの先生

当初は電車を乗り継いで発明クラブに通っていましたが、やがて自転車で通うようになりました。ある日のこと、帰り道に指導員の先生の仕事場(町工場)に寄り道をしました。そこの社長でもある先生は『検収というのがあってな、こっちがどんなに丁寧に部品を作っても受け入れてくれないことがあるんだ。

そんなときは全部作り直しで大赤字さ』と、頭を抱えながら話してくれました。今になれば歩留まりや要求仕様についての話をしていたのだと思います。発明クラブに入っていないければ、学校では出会わない地域の大人たちの様々な仕事を垣間見ることなどなかったに違いありません。

■発明クラブでのものづくり

さいたま市少年少女発明クラブでは、私が在籍したころから現在に至るまで、毎年「板3枚を使った木工工作」から始めます。初めての作品はやがて壊れてしまいましたが、6年生の時に作った作品は30年後の今でも使っているほど丈夫にできています。作り方の手順一つ一つのステップには、ちょっとしたノウハウや、上手な道具の使い方のコツがあって、それを知っていれば丈夫な箱を綺麗に作るができます。試行錯誤を繰り返しながら、きちんとした完成品として仕上げるまで時間をかけて何度も繰り返して身に付けられる。発明クラブには「自主的な試行錯誤と失敗が許される環境」がありました。

夏休みを過ぎたころには、自由な発想で考えたアイデアを自分の力で形に仕上げる「アイデア工作」の季節がやってきます。今の子どもたちにも人気がありますが、小学校6年生の私も「モーター」を使った構想を練りました。理科の授業で習った手回し発電機と組みあわせ、『少しのちからで動くことのできるモーター』を考えました。電池で動かしたモーターの動力の一部で発電機を回せば、再び電気エネルギーをモーターの動作に使えると得意になって考えたのです。ところが発明クラブの電気が得意な先生は、どうやってこれはできないというのです。小学6年生にも分かるようにエネルギー保存則を教えざるを得なくなった先生にはさぞかしご苦労をおかけしたことと思われませんが、基本になる科学を正しく理解する大切さを学ぶことができました。

中学時代には部活動で一時的に足が遠のいたもの

の、大学生になって指導員補佐に認定していただきました。ある時、市が主催する「空き缶レガッタ」というイベントに出場することになりました。街で拾った空き缶でボートを作り大宮公園の池で競争するのです。発明クラブらしいボートとという指導員の先生の一声で、『自転車のように、サドルに座ってペダルを踏み、水中のプロペラが回って推む』という凝った船を作ることになりました。暑い中、小さなクラブ員からみんなで活動日以外も集まってレガッタ船を作り上げました。私は漕ぎ手として出場させていただき、みんなの声援を受けて頑張ったのですが、残念ながら入賞はならず(浮力が大きすぎて大人が乗ってもプロペラが半分しか水中に沈まず、推進力が得られなかったのです!)。一人で作る工作も楽しいですが、いろんな役割をもった仲間と協力した経験も楽しい思い出です。



空き缶レガッタ競技大会のようす

■少年少女発明クラブの場を通して

大人になった私は医療機器メーカーに就職をしました。初めは工場勤務で、先輩方が何年もかけて蓄積した経験知を学ぶ期間でした。生産工程はとて多くの人がかかわっていて、いくつものエラーを乗り越えてきた改善とチームワークが、安定生産につながっていました。ある日、設計図を描いていたところ、先輩から「物を作ったことが無い人が書いた要求仕様はすぐにわかる」と言われたので、改めて製造工程を見に行くところからやり直しました。やがて研究開発センターに配属されて、いくつかの特許も出願してきました。ようやく発明とは新規性と進歩性の論述であると、理解ができるようになったわけですが、そのために大切なのは工学と医学の基礎知識でした。子どものころからの経験をフル活用して、私はエンジニアとしてのスタートを切ることができました。

現在はエンジニアの枠を超え、マーケットの要求から課題を見つけて解決方法として提案をするマーケティングが仕事です。そこには製造・開発だけで

はなく、医師に対するトレーニングや臨床試験データの活用、海外の医師や技術者との共同作業、あるいはベンチャー企業開拓など、もの作り以外にも幅広い内容が含まれています。今日において、エンジニアが思う優れた技術をいかに医療に応用しようとしたところで、広く使われて成功することは皆無と言っても過言ではありません。潜在的なニーズを正しく掴むことができれば、革新的な医療機器として成功する確率は飛躍的に高まります。何が必要とされているのか？ その課題に対してどういった解決策を呈示すれば時代が変わるのか？ 医療機器に限らず、そういったニーズ思考型の開発が求められる時代になりました。

私は、発明クラブの子どもたちには「困ったことはないかな？ 誰のために、何を作りたいのかな？」と問いかけることを意識しています。子どもたちが大人になった時に、グローバルな存在価値を発揮する礎として大切なことだと思うからです。幸いにも今年からは自分の子どもも発明クラブに参加できることになりました。自分自身が先生方から学んできたことに私自身の経験から得た知識も少し加えて、次の世代に伝えていきたいと思います。



脳血管内治療デバイスの実験をする塩野さん



海外要人への医療機器の説明

目次

巻頭メッセージ

ご挨拶	3
少年少女発明クラブ	4
全日本学生児童発明くふう展	8
未来の科学の夢絵画展	10
全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	12
地域活性化アイデア創作活動	14
青少年創造性開発育成海外交流	16
メッセージ紹介	18
全国の少年少女発明クラブ一覧	20
2017年度 青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金	24



公益社団法人発明協会

会長 野間口 有



発明協会が行う青少年の創造性育成に関する事業に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

2017年に愛知県名古屋市において開催した「世界青少年発明工夫展」には、15カ国・地域から約250名の参加者が集い、3日間で3万名を超える来場者にお越しいただきました。日本派遣団として参加した青少年20名は、各国の参加者との交流を通じて国際的な視野を広げるとともに、プレゼンテーション力を向上させる契機となりました。

第76回「全日本学生児童発明くふう展」で恩賜記念賞を受賞した松岡さんは、「足の不自由な方々に何かできないか」と考えたところから作品製作をスタートし、エジソンの「try just one more time」という言葉を支えに試行錯誤を繰り返しながら完成に至ったそうです。松岡さんのように自ら課題を見つけチャレンジする機会を一人でも多くの子ども達に提供できるよう、今後も青少年創造性開発育成事業の充実を図って参ります。

本報告書では、前述の世界展や学生展に加え、全国200を超える地域で活動を行う「少年少女発明クラブ」、チームで競い合う「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」などの当協会事業を通じて子ども達が目を輝かせながら活動を行う様子を見ていただくことができます。

当協会といたしましては、引き続き子ども達の科学技術に対する夢を育み、創造性を養う諸事業を実施して参りますので、皆様方におかれましてはご理解、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

公益社団法人 発明協会

- ◆総 裁 常陸宮殿下
- ◆会 長 野間口 有(三菱電機(株) 特別顧問)
- ◆目 的 発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって我が国経済の発展に寄与することを目的とする。
- ◆事 業 (1)発明奨励振興事業
(2)青少年創造性開発育成事業
(3)知的財産権制度普及等事業

少年少女発明クラブは、発明協会創立70周年の記念事業の一環として、1974年にスタートしました。

全国47都道府県に212か所、約9,200名の子どもたちと約2,800名の指導員が活動しています。
(2018年3月31日現在)



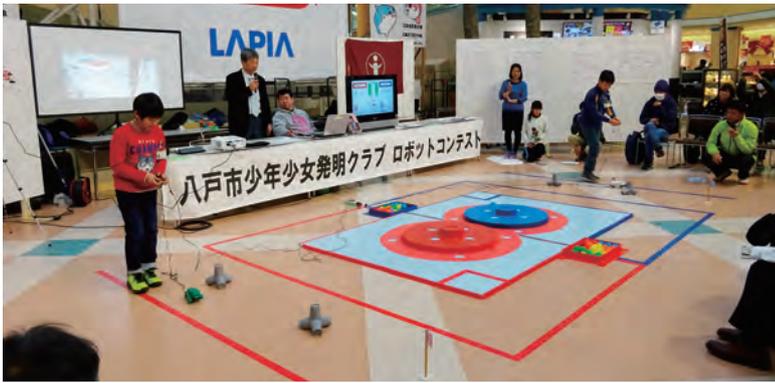
■子どもたちが主体的に学び、学校教育とは一味違う経験をしています

「工作がしたい」、「発明がしたい」といった意欲を持った子どもたちが集まり、のびのびと自由に発想し、主体的に学びながら楽しんで活動をしています。学校は先生に教わるのが中心ですが、発明クラブは様々な学年の子どもたちが自分の意思で集まって一緒に活動しています。学校とはまた一味違う楽しさや学びを得ています。



■発明クラブは、地域と共に歩んでいます

活動場所は地域によって様々ですが、学校、科学館、公民館、児童館、その他の公共施設などで活動するクラブがたくさんあります。また、活動で使用する木材、電子部品などの資材を、地場を支える企業からのご厚意で提供いただくなど、町ぐるみで、子どもたちの成長を支援する場となっています。



■ 様々な分野の経験豊かな指導員によって活動が支えられています

指導員として登録いただいている方は、地域企業の技術者、学校の先生、技術者OB・OG、教員OB・OG、学生ボランティア、発明クラブ卒業生などです。日ごろから、指導方法・教材の研究、指導員・発明クラブ間で情報交換を積極的に行って、熱心に、子どもたちとのふれあいを楽しみながら活動しています。



少年少女発明クラブ 指導員表彰

全国の少年少女発明クラブにおいて、長年、指導員としてご尽力された方々へ、感謝状を贈呈しました。

【平成29年度 少年少女発明クラブ指導員表彰】

■ 表彰概要

対象者：発明クラブ指導員として10年以上継続して活動されている方

受賞者：52名

■ 表彰式

会 期：平成30年2月26日(月)

会 場：東京都港区・発明会館ホール

※第82回少年少女発明クラブ全国会議と併せて実施



発明クラブ卒業生たちの、
その後の活躍をご覧ください

「はつめいクラブセンパイ図鑑」



発明クラブで学んだことは、
現在の仕事にも活かされています！

茂原少年少女発明クラブ(千葉県) 山本 幸音さん(24歳)

小学校3年生から6年生まで4年間、発明クラブに所属。学生時代には、余暇の時間に発明クラブでの指導を体験。

プロフィール

現在は、小学校の教諭として働いています。

小学生は、私が思いもつかないようなひらめきや発見をするので、日々子どもからとてもいい刺激を受けています。指導の中で、手を貸すタイミングやアドバイスの仕方など、発明クラブで学んだことが活かされています。これからもクラブで学んだ、創作活動や、表現活動を大切にしていきたいと思っています。



メッセージ

今、みなさんは発明クラブの教室で、学校では経験できない様々な体験をしていると思います。私は、クラブを卒業してからも、「こんな事をクラブで教えてもらったな」「この道具はクラブで使ったことがあったな」と、役に立つことが沢山ありました。

また、最後まで諦めずに考え、取り組む力も身に付いたと思っています。指導員の先生方と共に、ひらめきや発見を大切に、楽しみながら、素敵な活動をして下さい。



「人との出会いや、相手のことを想い物を作る」と
いうことを学び、今の私があります。

碧南市少年少女発明クラブ(愛知県) 岡部 華佳さん(22歳)

大好きな祖母の為に何か役立つものを作りたいと思い、工具を借りて発明クラブへ行ったのが、入会のきっかけ。中学1年～3年生までの3年間、発明クラブに所属。



プロフィール

今はテレビCMや、企業VPなどを制作する、映像制作会社の編集部という部署で働いています。撮影してきた映像や、グラフィックデザインなどを使い、編集やデザインを組む仕事をしています。それは、お客様に渡る最終段階の仕事で、この編集した映像によってとらえ方が変わってくる為、とても重要なポジションです。

自分が携わった映像が、実際にテレビで流れているのを見た時の達成感や喜びは、発明クラブに通っていた当時に感じたものと通ずる部分があると思います。

メッセージ

昔から物を作ることは大好きで、よく家でも工作はしていましたが、家ではどうしても限界がありました。その時出会ったのが、発明クラブです。ここに行ったら使ってみたかった道具や、見たことのない機械などが沢山あり、私にとっては夢のような場所でした。また、この発明クラブに行かなければ出会うことのない素敵な出会いや、相手のことを想い、物を作るにはどう工夫が必要か考える力など、ここで学んだことはとても大きく、将来仕事をする上で役立ちます。皆さんも物を作る楽しさを感じてください。



2010年には世界青少年発明工夫展でベトナムに行きました。



発明クラブの経験はものづくりの基礎となっています

荒尾少年少女発明クラブ(熊本県) 吉丸 哲史さん(26歳)

小さな頃から身近なものでおもちゃを作ったり色々分解したりとものづくりに好奇心旺盛で親の勧めで小学5年の時に発明クラブに入会。中学3年までの5年間クラブに所属。

プロフィール

発明クラブ、高専を経て電気系のもので好きになり、現在は信号機の電気関係の設計をしています。今年は新しい信号機の設計にも携わることができました。ハンダ付けなどはもちろんのこと、発明クラブでは毎年、木材・金属の加工やその工具の取扱いなどを学ぶことができ、総合的なものづくりの基礎が作れました。開発品の試作などはそれを活かして電気系以外の加工もどんどんできています。

メッセージ

発明クラブでは様々なものづくりを学ぶことが出来ました。当時は「もっと電気工作がしたい!」と思っていましたが、今になって思うと、いろいろなものづくりに「楽しく」触れ合うことが出来る良い機会だと思います。

みなさんも是非、いろいろなものづくりを楽しんでください。(怪我には注意しましょう)



毎年、有明高専で開催されていた「ロボット」リーグという大会に発明クラブで参加し、それをきっかけに高専に入学。その後、全国大会出場も果たしました。

ロボコンに没頭する毎日。 将来のエンジニアを目指して勉強中です。

日立少年少女発明クラブ(茨城県) 大越 聡太さん(19歳)

小学3年生のときに発明クラブに入り、基礎的なものの作り方、考えてものを作るということを学びました。



プロフィール

現在は、茨城工業高等専門学校 電子制御工学科において、エンジニアとして将来活躍するための知識・技術を習得中です。また、高専ロボコン2014、2015、2016地区大会にも出場し、アイデアを生かしたモノづくりに励んでいます。

マシンを作るにあたって、基本的な設計の考え方などの技術的な面だけでなく、考えてものを作るという思想的な面でも発明クラブの活動で学んだことが役に立ちました。

メッセージ

私は、まえばしロボコンなどの発明クラブでの活動で「作ることの楽しさ」と「考えることの大切さ」を学びました。この2つは今も僕が将来のために勉強をしたり、マシン等を部活で設計するときに深く役立っています。これらは、ものづくりをする上で一番大切なことだと思います。「考えて、楽しむ」ということを、クラブ活動を通して感じてほしいです。



高専ロボコン2016関東甲信越地区大会のようす

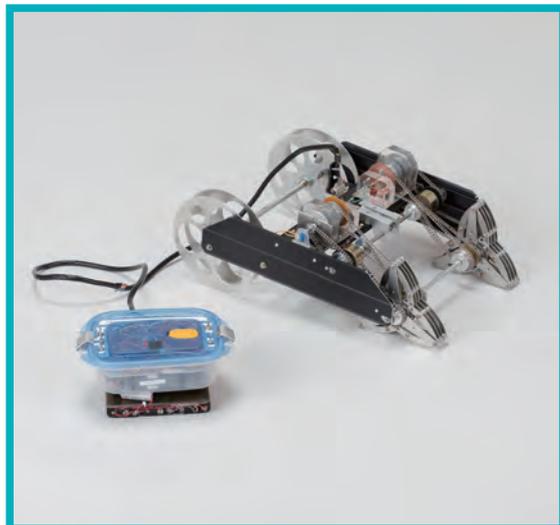
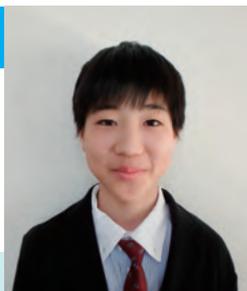


恩賜記念賞

作品名「車輪形状変形システム」

伊達市立伊達小学校(北海道) 6年 松岡 陽さん

※学校・学年は応募時のものです。



9歳の時に偉人達の伝記を読んでから、発明で世界を変えたいと思っています。何かを思いついても形にすることは大変ですが、エジソン達に並べるように挑戦し続けます。

階段や段差を乗り越えることができる車輪を作りました。これまでの円形車輪は階段や段差の角で滑ってしまいます。星形車輪では階段との接地面ができて滑りません。回転力を直線の動きに変換するラックアンドピニオン(歯車)を使いました。円形車輪を6枚に分けて、それぞれの端を固定します。反対の端をラックの直線運動で引き込むことで、星形車輪に変形します。逆回転させれば円形に戻ります。平地では円形車輪で走行し、階段や段差では星形に変形できる走行システムが完成しました。

第76回全日本学生児童発明くふう展

全国各地域にて開催された発明くふう展において優秀な成績をあげた769点の作品が各地域から推薦されました。



■ 展覧会

会 期：平成30年3月28日(水)～31日(土)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館1階 展示・イベントホール

■ 表彰式

会 期：平成30年3月28日(水)

会 場：東京・北の丸公園 科学技術館地下2階 サイエンスホール

■ 受賞内訳

恩賜記念賞…1件、特別賞…13件、奨励賞…20件、入選…121件

計155件



■ 主催・後援

主催：公益社団法人発明協会

後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、

日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、

公益財団法人 日本科学技術振興財団・科学技術館、

全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、

公益社団法人全国工業高等学校長協会

本展覧会は、子どもたちにもものづくりを通じて、創作の喜びや発明くふうの楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に開催しています。夏休みの自由研究、発明クラブ活動の中から生まれた作品、ユニークな生活用品など、アイデアに満ちた作品が全国から出品されています。

展示会場では、発明くふう作品の展示以外に、協賛企業等による発明教室、電子顕微鏡や模倣品などの特別展示、サイエンスショーも実施しました。

3月28日(水)

サイエンス演芸師 善ちゃんのサイエンスショー

サイエンス演芸師 善ちゃんこと北沢善一さんによるサイエンスショーを実施。不思議で楽しい実験の数々により、会場は驚きと笑いで包まれました。



3月29日(木)

発明について学び、発明工作をしてみよう！

講師：日本弁理士会関東支部 弁理士の皆さん

「発明とは?」「特許とは?」を学んだ上で、チリトリをテーマに課題を解決するための発明を自分で考えて工作しました。



3月31日(土)

星と望遠鏡

講師：三菱電機株式会社人材開発センターの皆さん

天体や望遠鏡のしくみについて学び、実際に手作り天体望遠鏡の工作も行いました。



善ちゃんのサイエンス教室(3/28~31)

スーパーボールロケット、宝石万華鏡、間伐材の射的、くるくるクリップキャッチャーなど、いろいろな工作品を作りました。

特別展示コーナー(3/28~31)

～知っているものの知らない世界～電子顕微鏡で見てみよう！

協力：株式会社日立ハイテクノロジーズ



ホンモノ?ニセモノ?君はわかるかな?

協力：(一社)コンピュータソフトウェア著作権協会、(一社)日本商品化権協会、(一社)一般社団法人日本時計協会、(一社)日本流通自主管理協会、(一社)日本レコード協会、(株)サンリオ、特許庁





文部科学大臣賞



作品名 「世界中の本が読めるアイマスク」

由利本荘市立小友小学校(秋田県) 2年 小松 晴希 さん

※学校・学年は応募時のものです。

世界中の子どもたちがこのアイマスクをつけて、いろいろな国の本を好きにだけ読むことができれば、きっとこの地球は、宇宙一幸せな星になるでしょう。



どのくにの人でも、このアイマスクをつけると、世界中の本を読むことができます。じ書がなくても、すらすら読める、うれしいマスクです。

第40回未来の科学の夢絵画展



■ 展覧会

会 期：平成30年4月10日(火)～4月22日(日)
会 場：国立科学博物館 日本館地下1階 多目的室

■ 表彰式

会 期：平成30年4月20日(金)
会 場：国立科学博物館 日本館2階 講堂

■ 受賞内訳

応募総数：8,492点

	特別賞	優秀賞	奨励賞	合計
小学校・中学校の部	11	48	74	133
幼稚園・保育園の部	1	5	40	46
外国人学校の部	1	5	11	17
合計	13	58	125	196



■ 主催・後援

主催：公益社団法人発明協会
共催：国立科学博物館
後援：文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、公益社団法人 日本美術教育連合、公益財団法人 美育文化協会

本絵画展は、未来への夢を自由な発想によって絵に表現することで、科学への関心を高めてもらうことを目的として開催しています。構図、色使い、コメントなどのすべてに青少年が科学に見る夢を感じ取ることができます。



経済産業大臣賞

「地しん力発電」



湖西市立知波田小学校(静岡県)
5年 山本 伊織 さん
(湖西市少年少女発明クラブ)

地下のプレート境界で発生する地しん力エネルギーを地上に伝わる前に大型ノズルで吸い込み、地しん力発電で電気を作り、ぼく達の生活に活かしていきたい。



特許庁長官賞

「くじら雲」



旭川市立神楽中学校(北海道)
2年 中島 瑠花 さん

世界の空を24時間飛び続け、大気や雨に含まれる有害物質を全自動で感知しながら処理します。人工知能を持ち環境問題を解決する自律型ロボットです。

(幼稚園・保育園の部)



発明協会会長賞

「アニマル眼鏡」



さつき幼稚園(青森県)
新関 乃英 さん

苦しんでいる動物は、どこが痛いか言葉で伝えられないので、アニマル眼鏡を使って、骨や内臓などの悪い所を見つけて、早く治療をしてあげられます。

(外国人学校の部)



発明協会会長賞

「ゴミからエネルギーへ」



関西クリスチャンスクール(奈良県)
9年 Michelle Oliver さん

全ての燃えるゴミや燃えないゴミ、排泄物などから家で電気のエネルギーを生産できる機械です。

※学校・学年は応募時のものです。

展覧会場は
多くの来場者で
賑わいました。



全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

～ 第8回課題 からくりパフォーマンスカー～



文部科学大臣賞



チーム名 RSブラザーズ(大阪府代表)

作品名 昔あそび

日本に昔から伝わるあそびを表現した作品です。動力車は「コマ」が回り、山車1号車は「福笑い」で走行中に可愛いおかめの顔になります。山車2号車は「羽根つき」と「凧上げ」です。凧は1m以上せり上がります。また、作品紹介のプレゼンテーションでは大阪代表らしく漫才風のコミカルな話術で会場を盛り上げました。



特許庁長官賞



チーム名 世界(愛知県代表)

作品名 目指せ 金メダル40個

2020年の東京オリンピックで、日本選手が活躍し金メダルを40個獲得してほしいという願いを表現した作品です。動力車は開会式を表現して歓迎メッセージが回転し、五輪マークや花火が上がリ、聖火が点火されます。山車1号車は卓球や背泳ぎの競技を表現しました。山車2号車では、金メダル40個達成の垂れ幕が高く上がります。

第8回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト結果

■地区大会

会 期：平成29年7月～9月
参加都道府県：39都道府県
実施地区数：78地区
参加チーム数：664チーム

■全国大会

会 期：平成29年11月25日(土)
会 場：東京工業大学 屋内運動場
出場チーム数：60チーム
(うち、上位20チームが決勝進出)

■主催・後援・特別協賛

主 催：公益社団法人発明協会
後 援：文部科学省、経済産業省、特許庁、
東京工業大学、日本弁理士会、NHK、
読売新聞社、全国連合小学校長会、
全日本中学校長会
特別協賛：株式会社荏原製作所



コンテスト概要

コンテスト課題：「からくりパフォーマンスカー」

コンテスト内容：未来・環境・宇宙・スポーツ・地元などPRしたいものを紹介

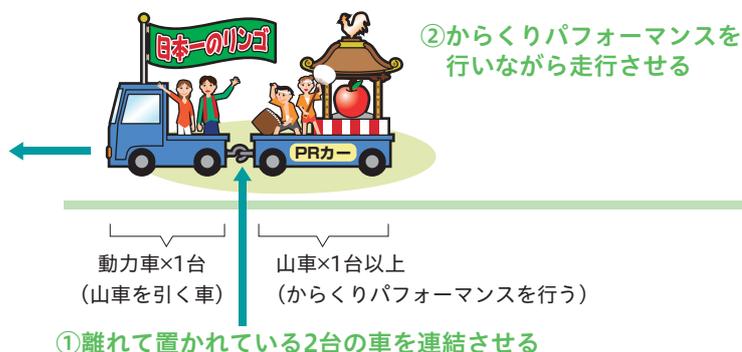
■課題

制限時間1分で、2つの課題をクリア

- ①動力車と山車を連結
- ②パフォーマンスを行いながら走行

■審査のポイント

- ・パフォーマンス走行の正確さ
- ・パフォーマンス内容
- ・作品（山車・動力車）の工夫点
- ・作品プレゼンテーション（決勝のみ）



全国大会結果

賞名	地域	チーム名	作品名
文部科学大臣賞	大阪府	RSブラザーズ	昔あそび
特許庁長官賞	愛知県	チーム世界	目指せ 金メダル40個
発明協会会長賞	愛知県	花火	からくりりんピック ～音と花火で金メダル！～
発明協会会長賞	宮崎県	希望の華	みやこんじょの よか祭り！
発明協会会長賞	愛知県	MSK豊田	SHINOBI
JKA会長賞	千葉県	松戸1号	松戸の「祭」
荏原製作所賞	静岡県	SURUGA	静岡の名産物
日本弁理士会会長賞	京都府	京サーカス団	京の曲芸
NHK会長賞	東京都	KOTOHA	四季の行事
読売新聞社賞	香川県	ダブルK	源平屋島合戦ぼんぼこ
WEBポイント賞	徳島県	チーム考案作成	阿波おどり号



宮古のはつめいキッズが町おこしに取り組みました！

概要

地域活性化アイデア創作活動とは、地域の課題を子どもたちのユニークなアイデアで解決しようという取り組みです。今回は、岩手県の宮古市少年少女発明クラブのみなんで9月30日～10月1日に開催される「宮古産業まつり」での発表をめざしてがんばりました。

- 活動日 全5回 平成29年6月3日(土)、17日(土)、8月19日(土)、9月16日(土)、9月30日(土)～10月1日(日)
- 参加者 宮古市少年少女発明クラブ員8名、指導員・保護者他
- 会場 宮古職業訓練センター内 発明クラブ室(製作会場)
宮古市民総合体育館(発表会場)
- 主催 公益社団法人発明協会

第1回：6月3日(土)、第2回：6月17日(土)

まずは、自分たちの地元「宮古市」をもっと知ろう！ということで、宮古の観光ガイドブックを見ながら復習し、パネル等の作成をしました。



裏側のパネルのレイアウト

【まとまったアイデア】

◇大型の「かわり屏風」

で宮古ご案内

- ・見るところ！
- ・食べるもの！
- ・楽しいイベント！
- ・すごい歴史！

かわり屏風(パタパタ)

- ・完成イメージ(表側)
- ・裏側は各テーマごとのご案内
- ※B5版の5列6行の大型です。



模造紙にアイデアをまとめ、発表しました！



第3回：8月19日(土)、第4回：9月16日(土)

出来上がったパネルの全体の色合い、レイアウト等の最終チェックの後に、屏風が一定の時間で表裏に変わるように仕掛けを組んでいきました。また、外枠の電飾のリモコンもクラブ員が設定しました。

3年生は「かわり屏風(パタパタ)」の観光説明書となる立体ガイドブック・紹介ポスターを作成しました。



全体の色合い、レイアウトの確認



立体ガイドブックの作成



出来上がった屏風の表面



屏風の裏面

第5回：9月30日(土)～10月1日(日)

「宮古産業まつり」(宮古市民総合体育館)「宮古市少年少女発明クラブ」のブースで活動報告と作品展示をしました。

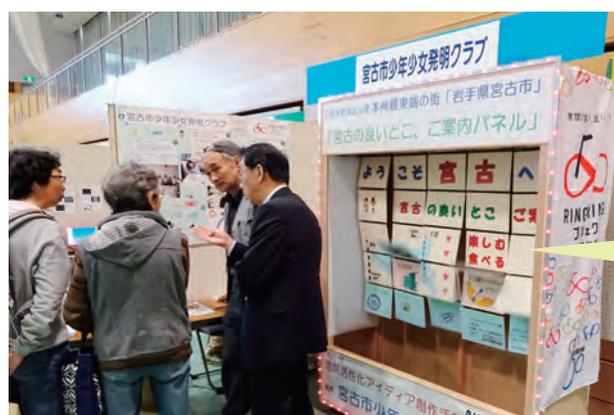


紹介ポスター

完成したパタパタ(変わり屏風)



一定の時間で裏表が自動で変わります。
周りの電飾の光るパターンはリモコンで変更できます。
子どもたちは目立つパターンに設定しました。



たくさんのお客さんがパタパタが動いたときに驚いていました。
子どもたちの活動について、訪ねられる方が多くいらっしゃいました。

ぜひ宮古にきてください!



体験教室のお手伝いもしました。
たくさんの方にパタパタの作成を体験してもらいました。



本事業は、子どもたちが住んでいる地域の課題を見つけ出し、解決するためのアイデアを形にして、その成果を社会で発表・実践する教室です。身近な課題を解決するための答えは1つではないため、アイデアを出すことも難しく、またそれを形にしていくプロセスにおいても大きな試練が幾度となく待ち受けています。子どもたちはこうした一連の取り組みから、互いに協力して、乗り越えていく経験を積んでいきます。

アイデア力、コミュニケーション力、行動力、仲間意識、そして郷土に対する愛が子どもたちの心に芽生えていきます。

世界青少年発明工夫展 (IEYI) 2017 愛知県名古屋市で開催！



イベント概要

本展は、アジアを中心とした国々の若き発明家が集い、毎年、主催国を変えて開催されています。2017年度は、愛知県名古屋市において13年ぶりの日本開催となりました。会場には150を超える作品をはじめとする様々なブースが展示され、来場者は3日間で3万2000人を超えました。

- 主 催 公益社団法人発明協会
- 共 催 愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県発明協会
- 後 援 文部科学省、特許庁、世界知的所有権機関日本事務所、中部経済産業局、中日新聞社
- 開催期間 2017年7月27日～29日(エキスカージョン 7月30日)
- 会場 ポートメッセなごや 第2展示館
- 参加国・地域 中国、香港、インド、インドネシア、イタリア、日本、韓国、マカオ、マレーシア、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム
- 作品数 159作品(発明品、絵画、参考出品)
- 参加人数 246人

【氏名】	(特別賞)
太田 匠郎	金メダル
尾野 宏多	金メダル
堀田 小春	金メダル
佐藤 夢	銀メダル、タイ特別賞
松永 悠伽	銀メダル
秋山 春菜	銅メダル
伊瀬谷芽生	銅メダル
大槻 紘生	銅メダル
大平 隆史	銅メダル
國山祥太郎	銅メダル
小柳 和季	銅メダル
山内 悠友	銅メダル、ロシア特別賞
彦坂萌々花	銅メダル
桑原 彩奈	
藤原 実紅	
工藤 万幸	香港特別賞、インドネシア特別賞 シンガポール特別賞
清水 智也	マカオ特別賞
中村 瑠晏	
内田 晴之	
山崎 秀馬	中国特別賞、台湾特別賞

開会式

開会の挨拶をする野間口有発明協会会長。大村愛知県知事、河村名古屋市長からもご挨拶をいただきました。



各国選手とリーダー全員による開会宣言。
掛け声は「エイエイオー！」



会場では各国・地域からの参加者が各々の作品を展示し、自慢の作品を来場者や審査員に熱心に説明していました。国際大会であるため、作品の説明は全て英語。はじめは戸惑っていた日本団員も後半は積極的に作品をPRしていました。



その他、会場内には、愛知県内の発明クラブの紹介や、愛知県内企業による参加・体験ブース、地元を代表する発明家豊田佐吉翁の生誕150年を記念した「豊田佐吉 絵本ミュージアム」など「ものづくり地域愛知」らしい様々なブースが出展されました。



表彰式

展覧会終了後には表彰式が行われ、金メダル、銀メダル、銅メダル、各国特別賞が授与されました。日本団員は全員が受賞する快挙を遂げました。



応援メッセージ

面白さに気付くセンスを磨こう

国立大学法人 東京工業大学
名誉教授 古屋 一仁 先生



◆ Profile ◆
1948年生まれ。東京工業大学修了(工学博士)。同大で教育・研究(光ファイバ、半導体レーザー、電子波デバイス等)。1980年米ベル研滞在(1年半)。2010年東京工業高等専門学校校長(2016年まで)。技術者の卵たちのエンカレッジを念頭に学校運営。

“必要”は発明の母、では“面白い”は発明の何？ ある若い研究者がある現象を“面白い”と気づき、将来これを何かに応用したいと思いました。それは周期的な構造をもつ空間で起きる波の現象です。何年も経った後、彼はこの現象を用いたレーザーを提案しました。このレーザーを通信に使おうとしたところ問題が発覚し、それを取り除く“必要”が明らかになりました。この“必要”に応える工夫と作製法が、複数の機関の複数の研究者(彼も含まれる)により考え出され、光ファイバ通信の実質的標準光源であるDFBレーザーが誕生しました。

これは“面白い”が素になりとても役に立つ発明がなされた一例です。面白さに気づくセンスは若いうちに磨くといいかもかもしれません。

はつめいキッズからのメッセージ

※学校・学年は応募時のものです。

第76回全日本学生児童発明くふう展 恩賜記念賞受賞



まつおか はる
松岡 陽さん
伊達市立伊達小学校6年(北海道)

作品名「車輪形状変形システム」

僕は幼稚園の頃から何かを作ることに夢中になっていました。小さな箱から始めて、空き地に廃材を使って秘密基地や自転車の障害物コースを作ったことなど、とてもわくわくしていたことを覚えています。小学4年生になってから、地元の室蘭市青少年科学館で発明くふうに挑戦してきました。車が好きでいつも走行システムを考えています。

学校の総合的な学習で足の不自由な方々に何か出来ないかと考えたことから今年の作品は始まりました。車椅子の不便さを知るため、体験をしました。その時、何人も簡易スロープから落ちるので、もっと安全な方法を作りたいと思いました。車輪を星形に変形すれば、車輪と階段の接地面が多くなるので、階段を直接上ることに気付きました。

車輪を変形させる仕組みとして、回転力を直線の動きに変換するラック・アンド・ピニオンと言う歯車を使いました。円形の車輪を六枚に分けて、それぞれの端を固定します。反対の端をラックの直線運動で引き込むことで、星形の車輪に変わります。逆回転させれば円形に戻ります。平地では円形車輪で走行し、階段や段差では星形に変形出来る走行システム

が完成しました。

完成までに数え切れないくらい作り直しをしました。例えば、歯車が固すぎると歯がすぐ欠けてしまいました。逆に柔らかすぎると曲がります。部品一つ一つの材質や形、歯車の位置など沢山試しました。そもそも最初は傘を応用するなど別の発想も色々試していました。締め切りもあって、発明を形にできるか心配になることもありましたが、でも、一つ一つのことがかうまくいくとわくわくしました。それに「try just one more time」とエジソンが言っています。「成功するのに最も確実な方法は、失敗してももう一回だけ試してみることだ」と言う意味です。この言葉を支えに挑戦し続けました。車輪がきちんと変形したとき、コントローラーのプログラムが完成した時の気持ちは言葉で表すことはできません。頑張った良かったと思います。

9歳の時に偉人達の伝記を読んでから、発明で世界を変えたいと思っています。何かを思いついても形にすることは大変ですが、エジソン達に並べるように挑戦し続けます。

(表彰式答辞より抜粋)



第40回未来の科学の夢絵画展 文部科学大臣賞受賞者

こまつ はるき
小松 晴希さん

由利本荘市立小友小学校2年(秋田県)

作品名「世界中の本が読めるアイマスク」

ぼくの通っている小友小学校は田んぼに囲まれていて、春にはうぐいすの声も聞こえる、のどかな学校です。全校118人で、ぼくのクラスの3年生は18人です。隣りにある小友保育園から一緒に、赤ちゃんの時から仲間です。

みんな本が好きで、学校の図書室に行って、読みたい本を2冊ずつ借ります。でもぼくはもっと本が読みたいので、町の中央図書館に、2週間に一度お母さんに連れて行ってもらいます。そして、一度に10冊の本を借りてきます。3歳の時から通っているので、もう1000冊位は読んだと思いますが、まだまだおもしろそうな本がたくさんあります。

図書館の一番奥に、外国の本コーナーがあります。アメリカの本、中国の本、韓国の本など、日本の本とは全然違う感じがしました。表紙を見ただけでも引き込まれそうになります。読むことができたらいいなと、いつも思っていました。そのアイマスクをつけて本を見ると、どの国の言葉でも日本語になって読むことができます。他の国の人でも、自分が話している文字に変わって、どの国の言葉でも読める便利なマスクです。

地球には、約200の国があります。言葉や文字も、文化も違います。1+1=2と世界中の子どもは答えると思いますが、好きな本は何ですかという質問には、全員が違う本を答えると思います。ぼくは、電車や生き物の図鑑や、子どもが主人公の物語が好きです。今は、かいけつゾロリシリーズが大好きです。勇気と知恵と思いやりにあふれていて、読んだ後は、ぼくもがんばろうと思えます。きっと、他の国にもそんな本があるはずですよ。ぼくの知らない国の人書いた本、その国で人気のある本、その国の人は何が好きで、どんな遊びがあるのだろう。日本を知っているだろうか。そんなことを想像するだけで、ワクワクして眠れなくなります。

ぼくにとって図書館は、最高の夢の国で、果てしない宇宙みたいです。いつか世界中を旅して、いろいろな国の子どもたちと、本の話がたくさんしてみたいです。世界中の子どもたちがこのアイマスクをつけて、いろいろな国の本を好きになって読むことができれば、きっとこの地球は、宇宙一幸せな星になるでしょう。

(表彰式答辞より抜粋)

平成29年度 青少年創造性開発育成海外交流 International Exhibition for Young Inventors (IEYI 2017)

銅メダル受賞

くにやま しょうたろう
國山 祥太郎さん

埼玉県立川越工業高等学校1年(埼玉県)



作品名「置かずに計れる計量カップ」

僕がこの世界青少年発明工夫展2017に参加するにあたり一番苦労したことは、海外の人たちに対しての英語でのプレゼンテーションです。

まず高校では英語科の先生に相談し、マンツーマンの練習をして頂く事になりました。それに加えオンライン英会話で英語に触れ、外国の方との会話に慣れるように準備をしました。その結果、当日は戸惑う事なく審査員や外国の方へのプレゼンテーションや質問にも答える事ができました。

海外のブースでは、その国の挨拶の言葉で多くの外国人と交流することができ、また沢山の作品を見ることができました。それぞれの国で発明品に対する考え方がかなり違うことに驚きました。すぐに商品化できそうな程完成度が高く良く研究されていると思う作品が多い国がありました。

その一方、ローコストで日常生活に密接に関わっている作品が多い国もありました。それらの作品を自分の作品と比較して、非常にハイレベルで凝ったものに感じられたり、視点や発想の面白さに感心しました。

会場に併設された企業のブースは、未来を感じられると

ても興味深いものでした。まず愛知県には沢山の企業があり様々な産業技術が発展していることに驚きました。中でも印象に残ったのは「からくり大発見」と「石光工業」のブースです。「からくり大発見」ブースで印象に残ったのは電気を使わない、からくりを使った工業機械です。僕は歯車に興味があるので、とても面白かったです。「石光工業」ブースではマシニングセンターを使って金属板に文字を彫っていました。高校の機械科の授業で使う機械に比べてとてもハイテクだったので興味深かったです。

日本団員はみんな個性的で、本当に5日間だったとは思えないほど仲良くなることができ、語りきれない程の沢山の思い出ができました。

今回の世界青少年発明工夫展では、海外の人たちの作品を見たり他の団員達の考えを知ったり企業のブースを見学・体験することができ、自分の将来について深く考えるきっかけとなりました。また、こうして多くの海外の方々に関わる機会は日常では無いことなので、このような貴重で刺激的な体験をする機会を頂いたことに感謝しております。

■北海道・東北

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
1	北海道	札幌中島少年少女発明クラブ
2		旭川少年少女発明クラブ
3		函館少年少女発明クラブ
4		小樽少年少女発明クラブ
5		帯広少年少女発明クラブ
6		札幌西少年少女発明クラブ
7		北見少年少女発明クラブ
8		苗穂少年少女発明クラブ
9		釧路少年少女発明クラブ
10	青森県	十和田市少年少女発明クラブ
11		八戸市少年少女発明クラブ
12		弘前市少年少女発明クラブ
13		青森市少年少女発明クラブ
14		五所川原市少年少女発明クラブ
15		黒石市少年少女発明クラブ
16		三沢市少年少女発明クラブ
17		小泊少年少女発明クラブ
18		平川市少年少女発明クラブ
19		六ヶ所村少年少女発明クラブ
20	板柳町少年少女発明クラブ	
21	岩手県	盛岡市少年少女発明クラブ
22		奥州市少年少女発明クラブ
23		北上市少年少女発明クラブ
24		大東町少年少女発明クラブ
25		花巻少年少女発明クラブ
26		一関市少年少女発明クラブ
27		宮古市少年少女発明クラブ
28	宮城県	仙台市泉少年少女発明クラブ
29		仙台市太白少年少女発明クラブ
30		仙台市青葉少年少女発明クラブ
31		大和町少年少女発明クラブ
32		大衡村少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年5月号
はつめいプリンス

茂原少年少女発明クラブ(千葉)

山口 颯斗さん(小5)



小学3年より発明クラブに参加しています。木工工作が好きで、からくりコロコロドラムで県の優秀賞を頂きました。今は、飛行機作りを楽しんでいます。また、第7回のチャレコンに出場しましたが、全国のレベルの高さを知りました。次回も挑戦したいです。

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
33	秋田県	大館少年少女発明クラブ
34		本荘少年少女発明クラブ
35		秋田市少年少女発明クラブ
36	山形県	山形少年少女発明クラブ
37		鶴岡少年少女発明クラブ
38		東根少年少女発明クラブ
39		三川少年少女発明クラブ
40		米沢少年少女発明クラブ
41		最上少年少女発明クラブ
42	天童少年少女発明クラブ	
43	福島県	福島市少年少女発明クラブ
44		郡山市少年少女発明クラブ
45		南相馬市少年少女発明クラブ
46		会津若松市少年少女発明クラブ
47		喜多方市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年7月号
はつめいプリンス

碧南市少年少女発明クラブ(愛知)

大野 幹人さん(小6)



左から2人目が大野さん

兄の影響を受け、小3からクラブ員として活動してきました。普段の活動だけでなく、夏休みの創意かふう展の作品作りやチャレコンにも積極的に参加しました。昨年度は、チャレコンに兄とその友達と一緒に参加をし、荏原製作所賞をいただきました。作品作りは大変でしたが、とてもよい思い出ができました。

■関東

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
48	茨城県	水戸少年少女発明クラブ
49		ひたちなか少年少女発明クラブ
50		石岡少年少女発明クラブ
51		日立少年少女発明クラブ
52		牛久市少年少女発明クラブ
53	栃木県	小山市少年少女発明クラブ
54	群馬県	前橋少年少女発明クラブ
55		高崎少年少女発明クラブ
56		桐生少年少女発明クラブ
57		富岡少年少女発明クラブ
58	埼玉県	加須市少年少女発明クラブ
59		さいたま市少年少女発明クラブ
60		新座市少年少女発明クラブ
61		川口市少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
62	千葉県	千葉市少年少女科学クラブ
63		八匝少年少女発明クラブ
64		松戸市少年少女発明クラブ
65		旭少年少女発明クラブ
66		佐倉少年少女発明クラブ
67		茂原少年少女発明クラブ
68		市原・袖ヶ浦少年少女発明クラブ
69		船橋市かつしか少年少女発明クラブ
70		東京都
71	調布少年少女発明クラブ	
72	おおた少年少女発明クラブ	
73	町田市少年少女発明クラブ	
74	神奈川県	横浜中田少年少女発明クラブ
75		川崎少年少女発明クラブ
76		川崎さいわい少年少女発明クラブ
77		川崎北部少年少女発明クラブ
78		海老名少年少女発明クラブ
79	長野県	大町少年少女発明クラブ
80		長野少年少女発明クラブ
81		松本少年少女発明クラブ
82		飯田少年少女発明クラブ
83	山梨県	甲府少年少女発明クラブ
84		都留少年少女発明クラブ
85		身延町少年少女発明クラブ
86	静岡県	湖西少年少女発明クラブ
87		三島市少年少女発明クラブ
88	新潟県	十日町少年少女発明クラブ
89		新潟市少年少女発明クラブ
90		上越市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年9月号 はつめいプリンス

さいたま市少年少女発明クラブ(埼玉)

福櫻 遥一さん(中2)
暁洋さん(小4)



左から遥一さん(兄)、暁洋さん(弟)

平成28年度埼玉県
児童生徒発明くふう展に
「全てお任せ靴水切りマシン」を出品。
奇抜なアイデアを評価され、
これまでクラブ員として得た賞では
最も優秀である埼玉県教育委員会
会長賞を獲得しました。
今年も頑張ります！

中部

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
91		刈谷少年発明クラブ
92		豊田少年少女発明クラブ
93		大府市少年少女発明クラブ
94		西尾市少年少女発明クラブ
95		東海市少年少女発明クラブ
96		安城市少年少女発明クラブ
97		高浜市少年少女発明クラブ
98		半田市少年少女発明クラブ
99		岡崎市少年少女発明クラブ
100		知立少年少女発明クラブ
101	愛知県	碧南市少年少女発明クラブ
102		一宮少年少女発明クラブ
103		阿久比町少年少女発明クラブ
104		豊川少年少女発明クラブ
105		名古屋少年少女発明クラブ
106		蒲郡少年少女発明クラブ
107		豊橋少年少女発明クラブ
108		大口少年少女発明クラブ
109		北名古屋少年少女発明クラブ
110		日進市少年少女発明クラブ
111	田原市少年少女発明クラブ	
112	愛知みよし少年少女発明クラブ	
113	幸田町少年少女発明クラブ	
114	岐阜県	岐阜市少年少女発明クラブ
115		各務原市少年少女発明クラブ
116		大垣市少年少女発明クラブ
117		多治見市少年少女発明クラブ
118		瑞穂市少年少女発明クラブ
119	三重県	津市少年少女発明クラブ
120		鈴鹿少年少女発明クラブ
121		河芸少年少女発明クラブ
122		桑名市少年少女発明クラブ
123	富山県	高岡少年少女発明クラブ
124		黒部少年少女発明クラブ
125		小杉少年少女発明クラブ
126		砺波市少年少女発明クラブ
127	小矢部少年少女発明クラブ	
128	石川県	金沢市少年少女発明クラブ
129		小松市少年少女発明クラブ
130		羽咋市少年少女発明クラブ

■近畿

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
131	福井県	福井市少年少女発明クラブ
132	滋賀県	大津少年少女発明クラブ
133		多賀町少年少女発明クラブ
134		永源寺少年少女発明クラブ
135		愛荘町少年少女発明クラブ
136		湖南市少年少女発明クラブ
137		彦根市少年少女発明クラブ
138		栗東市少年少女発明クラブ
139	京都	長岡京市少年少女発明クラブ
140	大阪	交野市少年少女発明クラブ
141		東大阪市少年少女発明クラブ
142		大阪市森之宮少年少女発明クラブ
143		大阪市日本橋少年少女発明クラブ
144		大阪市生野少年少女発明クラブ
145	兵庫県	神戸市少年少女発明クラブ
146		淡路少年少女発明クラブ
147		伊丹市少年少女発明クラブ
148		姫路少年少女発明クラブ
149	奈良県	大和郡山市少年少女発明クラブ
150		高取町少年少女発明クラブ
151		奈良市少年少女発明クラブ
152	和歌山県	有田市少年少女発明クラブ
153		海南市少年少女発明クラブ
154		和歌山市少年少女発明クラブ
155		御坊市少年少女発明クラブ
156		紀の川市少年少女発明クラブ
157		有田川町少年少女発明クラブ
158		橋本市少年少女発明クラブ
159		田辺市少年少女発明クラブ
160		新宮市少年少女発明クラブ
161		岩出市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2017年11月号
はつめいプリンセス



荒尾少年少女発明クラブ(熊本)
松尾 和紅さん(小6)

荒尾市の広報で
発明クラブのことが知り、
小学4年生から参加しています。
小さい頃から、廃材を使って工作することが好きでした。
発明クラブは、家では使えない材料が使える、
友達とアイデアを出し合うことが楽しいです。
昨年は、アイデアロボットコンテスト小学生の部で
優勝することができました。
工夫したことが、うまく結果に
つながると嬉しいです。

少年少女発明クラブニュース 2018年1月号
はつめいプリンス

牛久市少年少女発明クラブ(茨城)

小瀧 陽翔さん(小6)



全日本学生児童発明くふう展で
「電ビープロック迷路」が入賞。
今年は湿布貼り機「ひとり手シップ」、
自動くつ乾燥機「ひまわり2号」を
考えました。
電子工作や動く機械づくりが好きです。
微調整をして良い結果が出ると
達成感があります。

■中国

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
162	鳥取県	鳥取市少年少女発明クラブ
163	島根県	出雲少年少女発明クラブ
164		大社町少年少女発明クラブ
165		日原少年少女発明クラブ
166		松江少年少女発明クラブ
167	岡山県	玉野市少年少女発明クラブ
168		津山市少年少女発明クラブ
169		岡山市少年少女発明クラブ
170	広島県	広島少年少女発明クラブ
171		呉市少年少女発明クラブ
172		東広島市少年少女発明クラブ
173		福山少年少女発明クラブ
174		柳井市少年少女発明クラブ
175	山口県	山口市少年少女発明クラブ
176		下関市少年少女発明クラブ
177		田布施町少年少女発明クラブ
178		防府市少年少女発明クラブ
179		宇部市少年少女発明クラブ
180		周南少年少女発明クラブ

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
181	徳島県	阿南市少年少女発明クラブ
182		北島町少年少女発明クラブ
183		三好少年少女発明クラブ
184	香川県	三木町少年少女発明クラブ
185		三豊市少年少女発明クラブ
186		東かがわ市少年少女発明クラブ
187	愛媛県	今治市少年少女発明クラブ
188		砥部町少年少女発明クラブ
189		松山市少年少女発明クラブ
190	高知県	南国市少年少女発明クラブ

少年少女発明クラブニュース 2018年3月号 はつめいプリンス



日立少年少女発明クラブ(茨城)
益子 鈴海さん(中3)

発明クラブに4年間所属し、今年度は、クラブ最学年としてクラブ長を務め、発足20周年記念式典では、クラブ員を代表して「お礼の言葉」を述べるなど76名のクラブ員をまとめてきました。今年度で卒業ですが、最後にこれまでに培った技術とアイデアで左右前後自在に動くホイールを活用したロボットを製作しています。

NO.	都道府県	少年少女発明クラブ名
191	福岡県	北九州市少年少女発明クラブ
192		飯塚少年少女発明クラブ
193		くろめ少年少女発明クラブ
194	佐賀県	武雄市少年少女発明クラブ
195		佐賀市少年少女発明クラブ
196	長崎県	長崎市科学館少年少女発明クラブ
197		諫早市少年少女発明クラブ
198	熊本県	荒尾少年少女発明クラブ
199	大分県	大分少年少女発明クラブ
200		別府少年少女発明クラブ
201		きつき少年少女発明クラブ
202		佐伯市少年少女発明クラブ
203		ひた少年少女発明クラブ
204		豊後高田少年少女発明クラブ
205		宇佐少年少女発明クラブ
206		くにさき少年少女発明クラブ
207		中津少年少女発明クラブ
208		都城少年少女発明クラブ
209	宮崎県	宮崎少年少女発明クラブ
210		延岡少年少女発明クラブ
211	鹿児島県	鹿児島少年少女発明クラブ
212	沖縄県	なは市少年少女発明クラブ

発明協会発行媒体「少年少女発明クラブニュース」(奇数月発行)では、毎号の表紙で発明クラブの紹介をしています。今回の報告書では、2017年度に表紙を飾った「はつめいプリンセス&プリンス」をご紹介します。

※所属・学年は掲載時のものです。

★ウェブサイト「はつめいキッズ」★

ホームページ「はつめいキッズ」は、発明協会の青少年創造性開発育成事業紹介に加え、ホームページを訪れた子どもたちのさまざまな意欲を刺激し応援するコンテンツになっています。

【URL】 <http://kids.jiii.or.jp>

- 少年少女発明クラブ
 - 地域活性化アイデア創作活動
 - 全日本学生児童発明くふう展
 - 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト
 - 未来の科学の夢絵画展
 - 青少年創造性開発育成海外交流派遣団
- + 工作のヒント、発明クラブニュース、過去の大会動画などが掲載されています



2017年度青少年創造性開発育成事業に係る協賛金及び寄付金

当協会の「青少年創造性開発育成事業」に対し多くの企業・団体から協賛金及び寄付金を賜りました。多くのご支援に対し心より御礼を申し上げます。

皆様からいただいた貴重な資金を活用させていただき、少年少女発明クラブ、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテストをはじめとする「青少年創造性開発育成事業」を実施することができました。これにより、モノづくりを通じた科学的な考え方、発明工夫の重要性等の意識向上を図り、我が国の次代を担う創造性豊かな人材の育成に努めて参ります。

◆ゴールドスポンサー



◆シルバースポンサー



◆ブロンズスポンサー

アイシン精機株式会社、アステラス製薬株式会社、株式会社石井鐵工所、キタムラ機械株式会社、寿産業株式会社、株式会社コロナ、株式会社ササキコーポレーション、株式会社ジェイテクト、株式会社シエルター、株式会社島津製作所、住友電気工業株式会社、第一三共株式会社、東レ株式会社、豊田合成株式会社、トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、日産自動車株式会社、日本発条株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズ、富士フイルム株式会社、ブラザー工業株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社山本製作所

◆寄附

トヨタ自動車株式会社



青少年創造性開発育成事業 報告書2017

Annual Report 2017
Promotion of Young People's Creativity

発行／2018年6月



お問い合わせ先／

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14

TEL 03-3502-5434 FAX 03-3502-3485

公益社団法人発明協会 Webサイト <http://koueki.jiii.or.jp/>

はつめいキッズWebサイト <http://kids.jiii.or.jp/>



本書の全部または一部の無断転用を禁じます。

©2018 Japan Institute of Invention and Innovation